

福岡地区水道企業団 工事成績優良業者の紹介について

当企業団では、工事請負業者の土木技術の向上を図るとともに公共工事の品質の向上及び適正な施工に資することを目的として、平成 25 年 12 月より工事成績優良業者を表彰しています。

このたび、令和 8 年 3 月 4 日に工事成績優良業者の表彰（2 団体）を行いましたので紹介します。

業者名 株式会社海山組 代表取締役 海山 次貴

工事名 下原系粕屋地区送水管布設工事（その 1）

工期 令和 5 年 12 月 5 日から令和 7 年 3 月 15 日まで

発注課 施設部施設課

【表彰状授与式】



名古屋企業長（左）と海山代表取締役（右）



左から田川副企業長、名古屋企業長、
海山組 海山代表取締役、山浦監理技術者

業者名 東田中・丸三・機動建設工事共同企業体
代表者 株式会社東田中建設 代表取締役 田中 正男
工事名 夫婦石系松木地区送水管布設工事
工期 令和6年1月20日から令和7年12月15日まで
発注課 施設部施設課

【表彰状授与式】



名古屋企業長(左)と田中常務取締役(右)



前方左から、田川副企業長、名古屋企業長、東田中建設 田中常務取締役、小関現場代理人、後方左から、丸三工業 横瀬主任技術者、大野代表取締役、機動建設工業 村上九州支店長

工事の目的

当企業団は、安全で良質な水道水の安定供給を確保するため、送水管の耐震化を進めており、本工事は、糟屋郡粕屋町仲原地内外において、内径800mmの耐震管を約178m整備したものです。

工事の概要

- 工事件名 下原系粕屋地区送水管布設工事(その1)
- 受注者 株式会社 海山組 代表取締役 海山次貴
- 履行期間 令和5年12月5日から令和7年3月15日まで
- 契約額 314,322,800円
- 工事内容 工事延長178mのうち142mは地下約6mの深さに推進工法により耐震管を整備。
 φ800mm DIP-PN形 延長142m (泥濃式推進工法 HPφ1000mm)
 φ800mm DIP-NS形 延長36m (開削工法)

■ 特に顕著な事項

①掘進作業における不均一な土質への対応

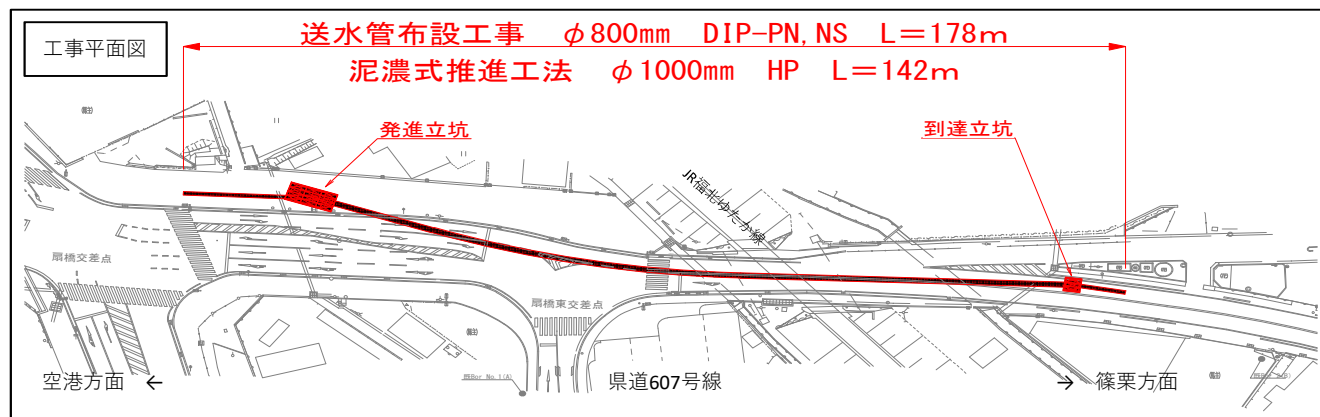
掘進作業の実施にあたり、設計条件から性質や硬さの異なる不均一な土質であることを把握していたため、ボーリング調査などで地質を綿密に確認し、不均一な土質においても掘進が可能な掘進機を選定した。土質の変状に応じて掘進スピードや土圧管理に留意しながら慎重に施工を行った結果、大きなトラブルなく工事を完成させた。

②作業従事者への安全衛生教育の充実化

現場が河川の近くであり、洪水時など緊急時の備えが特に必要と考え粕屋町、粕屋南部消防署の協力のもと緊急避難訓練を実施した。また、労働安全コンサルタントを招いた安全講話の実施や一人KYの実施、飲酒運転撲滅運動への参加等により現場従事者の安全意識とモラルの向上に努めた結果、無事故で工事を完成させた。

③社会貢献や住民との良好な関係を築き、苦情なく工事を完成

将来、建設業への就職を考えている学生を対象にインターンシップによる就業体験を積極的に取り入れ、実際の工事現場を体験させることで建設業のイメージアップや就業意識の高揚に貢献した。また、近隣住民への丁寧な説明や細かな配慮により良好な関係を築き苦情なく工事を完成させた。



①掘進作業における不均一な土質への対応

管路縦断面図(土質構造図)

掘進開始から約5m

砂質土

掘進完了の約25m手前

頁岩が粘土化

掘削土の性状の変化を把握し、オペレーターと常に情報を共有を実施

■ : 掘進位置

②作業従事者への安全衛生教育の充実化



③社会貢献や住民との良好な関係を築き、苦情なく工事を完成



工事の目的

当企業団は、安全で良質な水道水の安定供給を確保するため、送水管の耐震化を進めており、本工事は、福岡県那珂川市松木地内外において、内径1100mmの耐震管を約725m整備したものです。

工事の概要

- 工事件名 夫婦石系松木地区送水管布設工事
- 受注者 東田中・丸三・機動建設工事共同企業体
- 履行期間 令和6年1月20日から令和7年12月15日まで
- 契約額 1,243,091,300円
- 工事内容 工事延長725mのうち695mは地下約7~19mの深さに推進工法により耐震管を整備。
 φ1100mm DIP-PN形 延長695m (泥水式推進工法 HPφ1650mm)
 φ1100mm DIP-UF形 延長30m (開削工法)

■ 特に顕著な事項

①長距離推進における中込充填工の品質向上

本工事は推進工法を採用しており、非開削で地中に整備した推進管をさや管とし、その内部に送水管を挿入する方式であり、推進管と送水管との間の空間をモルタルで充填する必要があります。しかし、推進延長が約700mの長距離であることから、充填状況の確認が困難であった。そこで、推進管上部に一定間隔ごとに充填センサーを設置し、確実な中込充填を実現することで、品質の向上に繋がったものである。

②作業現場の安全管理の徹底

当現場は約2年の長期間にわたる工事であり、特に発進立坑部は水田に囲まれており梅雨時期の豪雨などによる水没リスクが懸念された。このため、WEBカメラを2か所現場に設置し、遠隔でリアルタイムに現場確認を行える環境を整えた結果、迅速な現場対応が可能となり、事故を未然に防いで無事故で工事を完成させた。

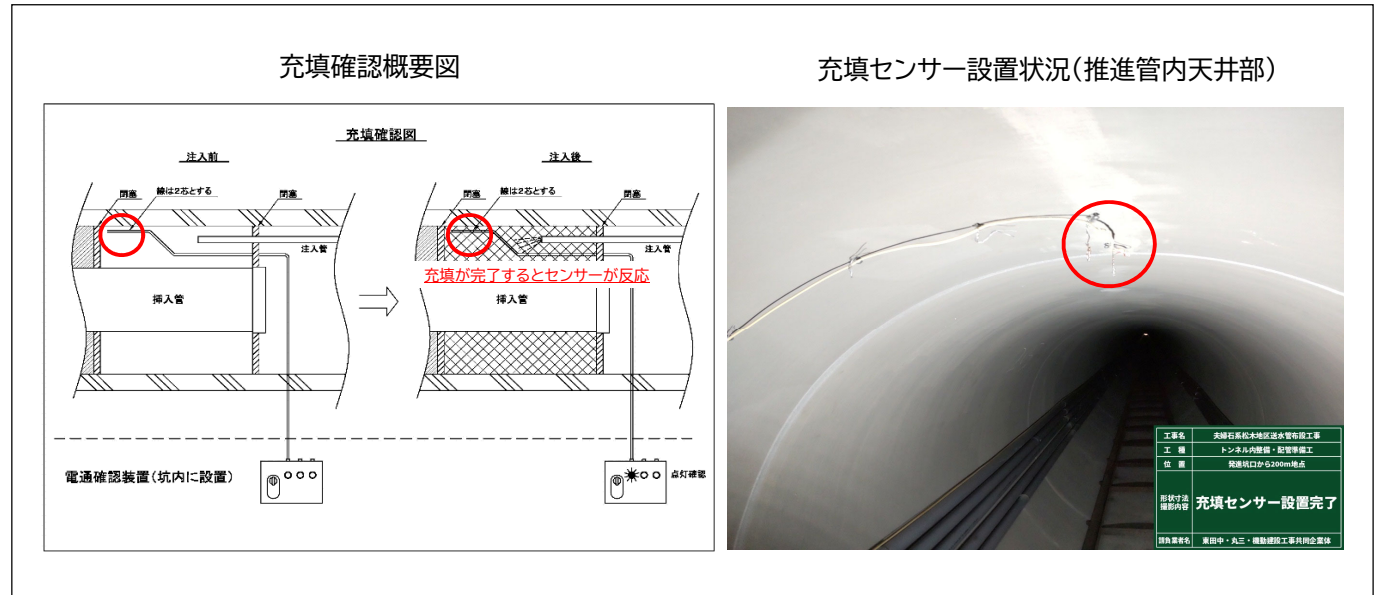
③周辺地域への配慮を徹底し、苦情なく工事を完成

到達立坑部は周辺に住宅等が多く、夜間施工であったため、地盤の掘削作業時の騒音による苦情が懸念されることから騒音対策を実施した。

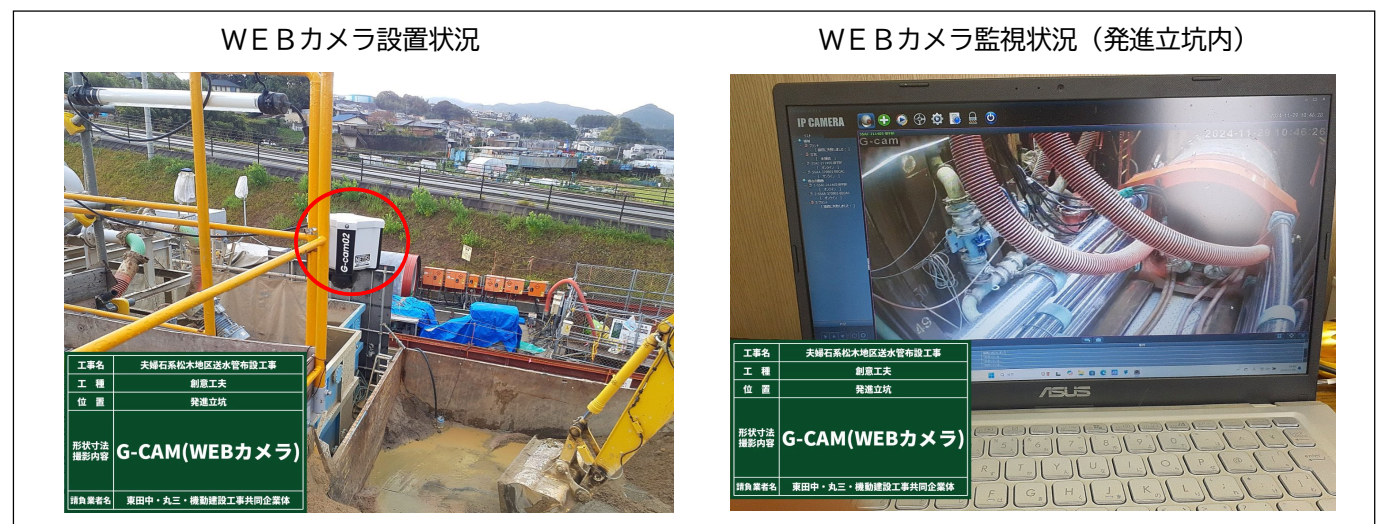
また、発進立坑部においては、立坑内に浸入する湧水の処理について、地元の了解を得て隣接用水路に放流することとしていた。その際、確実に排水基準を満足させるため、濁水処理設備（濁水処理装置・ph調整装置）を設置し、監視を強化した。

これらの周辺地域への配慮が徹底されたことから、地域住民からの苦情はなく工事を完成させた。

①長距離推進における中込充填工の品質向上



②現場作業の安全管理の徹底



③周辺地域への配慮を徹底し、苦情なく工事を完成

